

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

3月定例会予定表

- 3日(水) 理事会・例会
  - 10日(水) 協議会・例会
  - 17日(水) 夜間例会
  - 24日(水) 定例会
- ※第3水曜日が夜間例会、第4水曜日が昼例会です。お間違えの無いようにご注意ください。(3月のみ)
- ※ハイブリッド形式で開催します。
- ※17日(水) 親睦ゴルフコンペを開催します。是非ご参加ください。

名護ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2580地区  
NAGO ROTARY CLUB WEEKLYREPORT

国際ロータリー (RI) テーマ: Rotary Opens Opportunities

2020~2021年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク



第2163回 定例会 記録 3月3日(水)

司会進行SAA 喜世川 優 会場監督委員長

- ① 開会の点鐘 儀保 充 会長
- ② 国歌 斉唱 「君が代」
- ③ ロータリーソング 「♪それでこそロータリー」
- ④ 四つのテスト唱和 内山 博 会員
- ⑤ 会長挨拶 儀保 充 会長
- ⑥ 幹事報告 前田 裕子 幹事
- ⑦ 委員会報告 荻堂 盛清 親睦委員長
- ⑧ 卓話 名護自然動植物公園 (株) 動物管理部長 土井 晃 様  
演題 『エサ代のご支援のお願い』
- ⑨ 出席報告 町田 浩美 プログラム副委員長
- ⑩ 閉会の点鐘 儀保 充 会長

ニコニコBOX

内山 博 73才 誕生日3月1日です



小計 ¥1,000  
累計 ¥70,350

ご協力ありがとうございました

お誕生日おめでとうございます♪

ロータリー国際大会台北(台湾)

開催日: 2021年6月12日~16日



バーチャル行事として開催することが  
決定しました!

~ 地区からご案内 ~

奉仕活動情報交換研究会 (ZOOM) について

日時: 2021年3月24日(水) 15:00~

※ 登録料無料、事前の出欠連絡不要です。

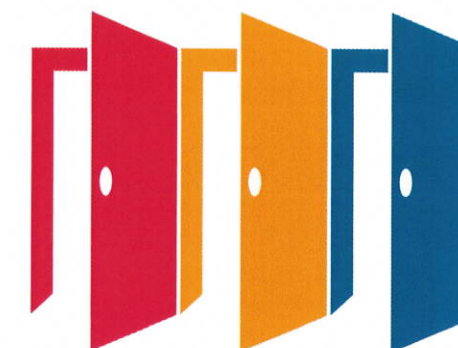
名護ロータリークラブ

創立: 1974年6月26日

地域: 沖縄県本島北部全域

会員数: 35名

(2021年3月10日現在)



ロータリーは機会の扉を開く

昭和50年 本部町で開催された沖縄国際海洋博覧会に、  
世界のロータリアンの為のメイクアップの場所として名護RCが設立されました。

名護ロータリークラブテーマ 「例会出席でロータリーを体感しよう」

- ・例会日: 水曜日 12:30~13:30 毎月最終水曜日 19:00~20:00
- ・例会場: ホテルゆがふいんおきなわ (名護市字宮里453-1)



会長: 儀保 充

【事務局】〒905-0011 名護市字宮里453-1

副会長(ELT): 吉田 勉

【電話&FAX】0980-53-4568 (直通)

副会長(ミニ): 濱元 清

0980-53-0031 (内線232)

幹事: 前田 裕子

【HP URL】http://www.nago-rotary.org/

会報委員長: 崎濱 秀光

【E-mail】office@nago-rotary.org





# 卓話 演題『エサ代のご支援のお願い』

名護自然動植物公園(株) 動物管理部長 土井 晃 様

今日は、儀保会長からこのようなお時間を設けて頂き、お忙しいところ、私たちの話を聞いていただけるということでやってまいりました。

今回3月1日から「ここから愛おしい沖縄の動植物に愛の手を」ということでネオパークオキナワ応援プロジェクトとしまして、クラウドファンディングを始める事となりました。ネオパークオキナワの未来を守るために皆様にお話しさせていただきたいと思ひます。

ネオパークオキナワは1987年に名護自然動植物公園として開園しました。その後1992年7月に経営不振によって一時閉園することになりました。その後、市民県民の声をうけて新たにネオパーク沖縄として1992年12月に再開園しました。その後、ヤンバルクイナの世界初の人口ふ化に成功しました。その後も経営の方はあまりいい状態ではなくて低いところを飛んでいるような状況ではあったんですが、2005年にはリニューアルオープン致しまして、沖縄県軽便鉄道を開設、また種保存研究センターという希少な動物の保護を取り組む施設のオープンを致しました。そこから、あまりいい状況をつくれないうような中でも県民に愛されながら動植物公園として運営を続けておりました。そして2018年タピック沖縄が経営の方に参画致しまして、そこから昨年まで右肩上がりの成長を続けてきたのですが、2020年コロナの影響によっていままでにないほど、ネオパークは苦しい状況になっているというのが今の現状です。そこで皆様にお話しさせていただきたいのは、クラウドファンディングを3月1日から開催致しました。動物たちのエサ代ということで、目標金額を1,300万円に定めて4月30日まで2か月間を利用してこちらの金額を皆様からご支援いただきたいと思っています。皆様沖縄の方ですので「ちむがなさん」という言をご存じかと思いますが、ちむがなさんの精神で地元やんばるの宝である動植物を守ってその尊さを伝え続けていきたいというふうに考えております。

この度、コロナ禍ではネオパーク沖縄にも影響がありました。これからもネオパークオキナワがやんばるの動植物たちを守り、沖縄の未来の担い手である子どもたちにその魅力を伝え続けていくために皆様からちむがなさん愛の手が必要だと考えております。

ネオパークオキナワは人と動植物の共存を体感してもらおうと理念のもと、種の保存・調査研究・自然環境を通じた情操教育に力を入れて取り組んで参りました。

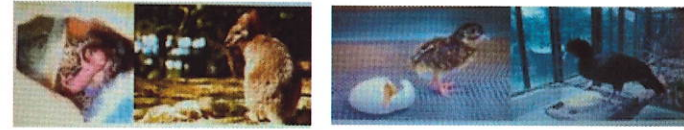
種の保存、調査研究では、ネオパークオキナワでは交通事故や外来種によって傷ついたやんばるに住む生き物たちの救護活動や治療、野生復帰などを行ってきました。また野生復帰ができない動物たちは終生飼育をして展示することによって、やんばるの現状をみなさまに伝える力になってこれたと思っています。また、その動物たちには繁殖研究にも力を貸していただいています。こちらは実際に事故にあった亀の

写真です。左側の甲羅が割れております、道路に出てきたところ車に踏まれて割れてしまった。そういった動物が保護されてネオパークに運ばれて保護されています。こちら



らは治療を行った後、この亀はやんばるの森の中へ帰っていきました。こちらは天然記念物のカラスバトという日本で最大の大きさのハトがいます。このハトも交通事故や窓ガラスなどにぶつかって羽が折れてしまつて飛べなくなって野生復帰できないような個体をネオパークで飼育しました。こちらからうまくペアリングができて、ヒナが孵り成長しております。

こういった試みは今後実際に野生の個体が減った際に野生復帰をする足がかりになるような事業となっております。また、やんばるの固有種だけではなく世界中にも有名な固有種がたくさんいます。こちらから沖縄の温暖な気候だからこそ飼育できる鳥や動物たちがおります。こういった動物を飼育・展示することで保護・繁殖の研究も行っております。上にいますのはパルモワラビという1970年代に再発見されるまではオーストラリアでは絶滅したのではないと言われていた希少種です。下にいる鳥、ヤンバルクイナは現在1,200~1,500は生息していると言われていたが、それよりも少ない生息数しか確認されていないコロンビアのアオコブホウカンチョウという鳥です。こういった世界中の生き物も繁殖、研究をする取り組みをネオパークでは行っています。また、自然環境を通じた情操教育とい



うことで一昨年国内の希少な動植物の展示・またヤンバルクイナやリュウキュウアマガメの繁殖や飼育研究の成果を発表する場、企画展や講演会を実施して啓蒙活動を行ってまいりました。またこのネオパークを沖縄県北部12市町村に住む子どもたちにぜひ遊びに来ていただきたいということで、学習利用での入園を無料とする取り組みをタピック沖縄が参画した2019年より開始しています。遠足だけではなく社会科学習や生物活動の取り組みにもネオパークを使っていただき、自然環境を学ぶ場として子どもたちにどんどん利用して頂きたいということで行っています。

実際遊びに来てくれた子どもたちが夏休みの研究課題をやったり、飼育の体験をしてもらったり、右側にあります一昨年のクリスマスに初めて沖縄にトナカイがやってきました。このトナカイを見たときの子どもたちの笑顔は忘れられないような体験を、私たちもさせていただいております。

種の保存と調査研究、情操教育この二つに力をいれて取り組むことが私たちの使命だと思っております。訪れるすべての人へ、動植物の価値と魅力を伝えて皆様に愛される施設になることが私たちの一番の望みです。

2020年から新型コロナウイルスの影響で4月17日から5月22日まで36日間の1か月以上にも及ぶ休園期間がございました。その後も8月、また冬に入ってからコロナの第3波がきて、前年に比べて4割以下の入場者数しか獲得できていない状況でございます。中でもホームページやSNSを通じてたくさんの応援コメントをいただいたり、実際にこの写真のようにブドウを持ってきてくれたお客様の写真です。動物たちにあげてほしいということで直接の支援をいただいたり、地元の農家さんやJAさん、スーパーの方から野菜やフルーツなどたくさんいただいて、応援してもらっています。

2018年(平成29年度)16万5千人ほどの入園者がございました。ここからタピック沖縄が経営参画いたしまして、一昨年には21万7千名まで入園者が増えておりました。ですが、コロナ禍の影響で昨年につきましては9万人まで減少する見込みとなっております。今回、クラウドファンディングでは目標金額を1,300万円と定めております。こちらはネオパークオキナワに住む100種類1,500頭の動物のエサ代年間費用となっております。こちらを皆様

からご支援いただければというふうに思っています。また1,300万円を超えてご支援いただいた場合につきましては、その金額については固有種や国際的に希少な動物また北部12市町村の子どもたちの受け入れを来年度も無償で受け入れる取り組みを進めていきたいと思っています。

本日、本来こちらの場でご挨拶したいと申ししておりました園長を務めております宮里好一も今回のコロナ禍で大変苦しい中ではありますが、皆様からのご支援をいただければとのことでコメントを出しています。こちら読ませていただきます。

「当公園は、1987年(昭和62年)に名護自然動植物公園としてオープンしました。『人と動植物の共存』をテーマに、日本最大の広い空間であるフライングゲージ内を熱帯系の鳥類などが自由に行き来し、直接触れ合える共生型の公園として、愛されてきました。

沖縄観光の急激な変化の中で、経営状況は困難な時期もあるなど紆余曲折を経ながら、経営体制の改革を図り2019年度には経営状態が大きく改善し、オープン以来32年目にして明るい兆しがみえてきたところでした。

しかし、今回の新型コロナウイルスの世界的な流行により、これまで半分近くを占めていた海外のお客様や県外からのお客様が大幅に減少した為、経営的に大きな打撃を受けております。

今回のこのプロジェクトに対して皆様にご支援をいただくことにより、園内にいる多くの動物たちの命を守ること、そして世界的価値のあるやんばるの希少な動物たちを守り抜く活動を維持するため、職員一同、このクラウドファンディングに挑戦することを決定いたしました。どうか皆様のお力添え、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。『ちむがなさん(心から愛おしい)沖縄の動植物に愛の手を』どうぞよろしくお願い致します。」今回、お時間を頂戴しましてありがとうございます。どうぞこのプロジェクトに応援をよろしく願いしたいと思ひます。

→ 右端  
左端  
土井 晃  
安部 航平  
様

